隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 191号【最新開催セミナーご案内！】

□■(株)技術情報センター ――――――――――――――――――――――――■□
「いいテク・ニュース」
～ Ecology ＆ Energy-Techno News ～
☆★☆★【10月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】★☆★☆
□■――――――――――――――――――――――――――― 2025.9.25 Vol.191 ■□

(株)技術情報センターのメルマガをご覧いただきありがとうございます。

野山や空き地、道端にもたくさんの草が花を咲かせる季節になりました。

俳句における季語に「草の花」があります。

季語の「草の花」は「秋の七草」として知られる名のある花や園芸で育てた華やかな花よりも、むしろ雑草の類（たぐい）の秋に咲く花をいいます。

何も知られていないような草に小さく咲く花、大きな花束にはならないような小さな花であっても、よくよく見れば可憐で可愛らしい花です。

多分こんな花を詩歌のテーマにするなんて、これはもう俳句をおいて他にはないでしょう。

花ひとつひとつの名前は知らなくても、どの花もなんとなく旧知の人にあったような懐かしさを感じさせてくれます。

草いろいろおのおの花の手柄かな

松尾芭蕉

「草の花」へのおもいは芭蕉の昔も今も変わりません。

「花の手柄」とは、草の花々への最大の賛辞です。

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第191号をお届けいたします。

今回も2025年10月開催19セミナーと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただけるとありがたく存じます。

□■――――――――――――――――――――――――――――――――――■□
　ｉｎｄｅｘ
□■――――――――――――――――――――――――――――――――――■□

◇セミナー情報[2025年10月開催セミナー/19件]

　2025年10月開催セミナー
　https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-10.html

◇おすすめセミナーPick Up

　10月17日(金)・29日(水)開催
　「蓄熱技術（低中温向け蓄熱材・システム）の開発・適用動向と
　　高温蓄熱・蓄エネルギー貯蔵に関する事業開発／技術動向」セミナー
　https://www.tic-co.com/seminar/20251014.html

◇主催セミナー　アーカイブ一覧
　https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング
　https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html

◇E-mail変更・不要について
　https://www.tic-co.com/merumaga.html

□■―――――――――――――――――――――――――――――――■□

セミナー情報

[2025年10月開催セミナー/19件]

□■―――――――――――――――――――――――――――――――■□

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■10月15日(水)---

メタン発酵・バイオガスに関する要素技術開発と事業・適用動向
～講師6名【Daigasエナジー、シン・エナジー、アーキアエナジー、
三菱化工機、富士クリーン、ヤンマーエネルギーシステム】ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251015.html

■10月15日(水)---

～プラントエンジニアリングにおける～
プロジェクトマネジメントの最近の動向とEPCコスト管理
－本年末に発行が予定されているPMBOK第8版の変更内容の動向や
昨年9月に発行されたP2M改訂4版についても解説－
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251003.html

■10月16日(木)---

～メンテナンス低減とプラントの長寿命化，効率的運用のための～
バイオマス、廃棄物および廃プラ燃料を用いる
発電プラントの腐食防止の実際
★会場★

★ライブ配信★
https://www.tic-co.com/seminar/20251010.html

■10月16日(木)--

－プラント・エンジニアリング分野を中心とした－
デジタルトランスフォーメーション（DX）の取組みと実際
～日揮グローバル、東洋エンジニアリングの講師がご登壇～
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251017.html

■10月17日(金)・29日(水)--------------------------------

～２日間開催（各日受講も可能）、講師９名による充実のラインナップ～
蓄熱技術（低中温向け蓄熱材・システム）の開発・適用動向と
高温蓄熱・蓄エネルギー貯蔵に関する事業開発／技術動向
★各日受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251014.html

■10月17日(金)---

―2025年5月の改正GX推進法の成立を踏まえた―
カーボンプライシング（GX-ETS等）の最新政策動向と今後の展望及び
Ｊ-クレジット・非化石証書等のクレジット市場の最新動向とビジネス展開
～創出者・購入者両方の視点を含めて解説～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251005.html

■10月21日(火)--

水電解／グリーン水素製造及び活用に関する動向と要素技術・コスト
－講師5名【東京電力リニューアブルパワー、みずほリサーチ＆テクノロジーズ、神戸製鋼所、東京大学、電力中央研究所】ご登壇－
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251019.html

■10月22日(水)--

DAC／CO2分離回収に関する研究開発／要素技術動向と展望
～講師4名（東京都立大学、金沢大学、東北大学、日本ガイシ）ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★（II・IVのみ可）
https://www.tic-co.com/seminar/20251013.html

■10月22日(水)---

営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の
事業動向・経済性・取組み・展望
～講師４名（早稲田大学、ファームランド、クボタ、鈴鹿インベストメント）ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251008.html

■10月23日(木)--

排水処理装置の設計法入門
～貯留槽・凝集反応槽・沈殿槽・加圧浮上槽・ろ過器設計等の
基本プロセスと標準活性汚泥処理、膜分離活性汚泥処理（MBR）、
生物膜処理、嫌気性処理等における設計のポイントと留意点を
設計事例や例題を交えて解説～
★会場★

★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251006.html

■10月23日(木)---

アンモニアの燃料利用に向けた設備・取組み・展望
～東洋エンジニアリング、三國機械工業、日機装、伊藤忠商事の方々がご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251018.html

■10月24日(金)---

水素燃焼／混焼など低・脱炭素発電に関する取組みと技術開発
～講師4名（JFEエンジニアリング、川崎重工業、三菱重工業、東京科学大学）ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251011.html

■10月24日(金)---

三市場（容量・需給調整・同時）の最新動向と
『2040／2050年電力需給シナリオ』の読み方
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251002.html

■10月28日(火)---

廃プラスチックなどケミカルリサイクルに関する要素技術開発・事業動向
～講師7名(esa、荏原環境プラント、日揮ホールディングス、マイクロ波化学、

産業技術総合研究所、法政大学、山口大学)ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
https://www.tic-co.com/seminar/20251012.html

■10月28日(火)---

純水・超純水製造技術の実際
～要素技術の原理・特徴から、水質評価・管理方法、
設計留意点、用途別システム構成、運用方法まで～
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251004.html

■10月29日(水)---

バイオエタノールとバイオディーゼルに関する政策／事業／技術開発動向
～講師5名【愛知工業大学、アメリカ穀物バイオプロダクツ協会、東京大学、
全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会、滋賀県立大学】ご登壇～
★個別（各テーマ）受講可能★
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251007.html

■10月30日(木)---

－電気器材を実際に触れて理解を深めるために
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた－
現場で役立つ電気の基礎知識
～専門外の方のための～
★会場★
https://www.tic-co.com/seminar/20251001.html

■10月31日(金)---

―講師3名【日本再生可能エネルギー総合研究所、Shizen Connect、
再生可能エネルギー推進機構】ご登壇―
拡大が続く蓄電池ビジネスと鍵を握るアグリゲーション
～世界の動きと日本での事業性、事例、ビジネスチャンス～
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251016.html

■10月31日(金)---

日揮グローバルによる調達戦略と不確実性・リスクへの対応
～エンジニアリング会社の調達の進め方から、
具体的な成功事例、近年のトラブル事例とその対応を含めて～
★会場★
★ライブ配信★
★アーカイブ★
https://www.tic-co.com/seminar/20251009.html

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

■ 受講申し込み受付中セミナー一覧

● 2025年10月開催セミナー
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-10.html

● 2025年12月開催セミナー
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2025-12.html

● 2025年10月開催アーカイブセミナー
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-10archive.html

● 2025年8月開催アーカイブセミナー
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-08archive.html

● 2025年6月開催アーカイブセミナー

https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html

● 2025年4月開催アーカイブセミナー
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04archive.html

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記ＵＲＬをご参照下さいませ。

□■―――――――――――――――――――――――――――――■□
おすすめセミナーPick Up
□■―――――――――――――――――――――――――――――■□

今回のPick Upセミナーは

「蓄熱技術（低中温向け蓄熱材・システム）の開発・適用動向と
高温蓄熱・蓄エネルギー貯蔵に関する事業開発／技術動向」セミナー

です。

本セミナーでは、10月17日に蓄熱(低中温向け蓄熱材・システム)の開発・適用動向を中心に、10月29日には高温蓄熱・蓄エネルギー貯蔵に関する事業開発／技術動向などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

●講　師　国立大学法人東京大学　大学院
理学系研究科　化学専攻　准教授
生井飛鳥 氏

●講　師　国立大学法人千葉大学　大学院
工学研究院　物質科学コース　准教授
劉　醇一 氏

●講　師　高砂熱学工業株式会社
大山孝政 氏

●講　師　株式会社IHI
大塚裕之 氏

●講　師　一般財団法人 エネルギー総合工学研究所
カーボンニュートラル技術センター　主管研究員
岡崎　徹 氏

●講　師　東芝エネルギーシステムズ株式会社
松崎晃大 氏

●講　師　SS&A POWER CONSULTANCY GMBH
秋田栄司 氏

●講　師　FPR Energy Limited
Dougal Adamson 氏
（※直前に講演者が変更となる場合がございます。）

●講　師　住友重機械工業株式会社
秋元慎介 氏

●日　時　２０２５年　１０月　１７日（金）　１０：００～１６：００
２０２５年　１０月　２９日（水）　９：４５～１７：００

●会　場　東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信（Zoom）での受講も可能です。
※セミナー資料（テキスト）はセミナー開催日の直前にデータ（pdf）でお送り致します。

※アーカイブ受講可能
（当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。）
１．受講料は同額となります。
２．開催日より７～１０営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
３．ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
４．動画の公開期間は公開日より５日間となります。

●受講料　◆２日間受講（１０月１７日と２９日）　８８,０００円
【１名につき（※受講者が１０月１７日 と １０月２９日で異なる場合でも可）】

◆１０月１７日のみ受講　　　　　　　　　４９,９４０円
【１名につき（同時複数人数お申込みの場合1名につき４４,４４０円）
】
◆１０月２９日のみ受講　　　　　　　　　４９,９４０円
【１名につき（同時複数人数お申込みの場合1名につき４４,４４０円）
】
※上記全てテキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

１０月１７日（金）

10:00-11:00
Ｉ．中低温未利用熱の有効活用に向けた長期蓄熱セラミックスの開発

中低温排熱エネルギーを長期的に保存することができ、必要なタイミングで取り出すことのできる高性能潜熱・顕熱蓄熱材“長期蓄熱セラミックス”について、その詳細と開発の取り組みについて紹介する。

１．研究背景
２．長期蓄熱セラミックス ラムダ型五酸化三チタンの開発
３．熱マネージメントへの応用展開に向けた開発の取り組み
４．質疑応答・名刺交換

（生井飛鳥 氏）

11:20-12:20
II. 中低温未利用熱の有効利用を目的とした蓄熱材の開発と今後の展望

CO2排出量の削減が求められる中で、化石燃料を使用しない新しい熱エネルギー供給技術の実用化が求められている。本講演では、当研究室で進めている中低温未利用熱の有効利用を目的とした蓄熱材の開発と今後の展望について紹介する。

１．蓄熱技術の比較
1.1 顕熱蓄熱
1.2 潜熱蓄熱
1.3 化学蓄熱
２．中低温未利用熱の有効利用を目的とした蓄熱材の開発

2.1 水酸化マグネシウム系化学蓄熱材
2.2 糖アルコール系潜熱蓄熱材
3．実用化に向けた課題
4．まとめ
5．質疑応答・名刺交換

（劉　醇一 氏）

13:40-14:40
III. 低温排熱を利用可能な吸着材蓄熱システムの開発と導入事例

200℃未満の低温排熱はその排熱発生場所での利用用途が限定されることから大部分が未利用のまま捨てられている現状がある。当社は、その課題解決のため、排熱を空間的に異なる利用先までトラックなどで運搬するオフライン熱輸送システム「メガストック（R）」を開発した。本講演では、メガストック（R）の概要及び導入事例を紹介する。

1．背景
2．システムの概要
3．システムの開発
4．導入事例
5．質疑応答・名刺交換

（大山孝政 氏）

15:00-16:00
IV. 未利用排熱の有効活用に向けた蓄熱技術の現場実証

蓄熱装置は未利用となっている排熱をニーズに合った使いやすいものに変換する機能を持つ。この機能を活用するアイデアについて現場実証した。その成果の一端を紹介する。

1．未利用熱の活用拡大に必要なことは？
2．熱性状ミスマッチ解消に貢献できる蓄熱装置
3．検証に利用した蓄熱装置
4．蓄熱装置の利用例
(1)排熱の自己再利用
(2)他工場での排熱利用
5．質疑応答・名刺交換

（大塚裕之 氏）

１０月２９日（水）

9:45-11:15

Ⅰ．第七次エネ基にも登場

：脱炭素社会に必須の蓄熱発電と国内外の開発動向・事業展望

脱炭素社会に向かう中、米国DOEが電力系統の安定化に望ましい蓄エネルギー技術として、蓄熱発電を最有望と結論付けしました。第七次エネ基にも明記されています。脱炭素電源は、再生可能エネルギーか原発しかなく、どちらも需要に合わせた発電が難しい電源です。これに高温蓄熱を利用する蓄熱発電が適しています。日本では海外水素製造にも有効だと言われ始めています。実は日本のエネルギー需要の6割を占める熱需要にも脱炭素電源を利用して熱を供給できます。この蓄熱発電の現状と、各種応用について解説したいと思います。

１．日本のエネルギー基本計画にも登場。蓄熱発電。
２．蓄熱発電の概要と経済性
(1)基本構成
(2)簡単な経済性試算
(3)JEPX利用の経済性試算
３．世界の再エネの実態
(1)蓄エネルギーが必須に
(2)低下する再エネ発電コスト
４．世界の開発プロジェクト
(1)電力会社系プロジェクト
(2)メーカ系プロジェクト
(3)ベンチャー等の様々なプロジェクト
５．蓄熱技術の概況　～商用技術から、水素吸蔵合金応用まで～
６．電熱変換の重要性　～実はキーテクノロジー～
７．質疑応答・名刺交換

（岡崎　徹 氏）

11:30-12:30

II. 岩石蓄熱エネルギーマネジメントシステム技術の

事業開発へ向けた取り組みについて

カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーの需給調整代として、大規模・大容量に適した蓄エネルギー技術の開発、社会実装が求められている。弊社では、蓄熱技術に着目し、偏在する岩石を蓄熱媒体として利用する、岩石蓄熱エネルギーマネジメントシステムの研究、開発を行ってきた。本講演では、岩石蓄熱技術の社会実装に向けた取り組みを紹介する。

1．東芝 エネルギーソリューション事業ご紹介
2．岩石蓄熱技術開発背景
3．岩石蓄熱技術ビジネスモデル
4．岩石蓄熱技術開発ロードマップ
5．まとめ
6．質疑応答・名刺交換

（松崎晃大 氏）

13:30-14:30
III. 自然エネルギーを活用する蓄熱式蒸気発生システム

自然エネルギー発電の普及に伴い、供給と需要のギャップが顕在化している。また需要側は電気エネルギーではなく熱エネルギーを求めるケースも多い。その様な状況下、E2S Power社は電気エネルギーを熱エネルギーに変換・蓄熱し、蒸気エネルギーの形で需要家に供給する、高効率で信頼性が高く経済性にも優れたシステムを開発した。テストプラントの運転実績を積み重ね、商用プラントの受注も始まっている。その詳細と最新状況を紹介する。

1．E2S社とは
2．E2S社の開発した蓄熱システムとその技術的及び経済的特長
3．テストプラントでの実証
4．商用化の状況
5．質疑応答・名刺交換

（秋田栄司 氏）

14:45-15:45
IV. 汎用セラミック粒子を活用した集光型太陽熱および蓄熱技術開発

熱エネルギーの脱炭素化はエネルギー多消費型の産業にとって喫緊の課題である。太陽

熱エネルギーは有望なエネルギー源の一つであるが、従来の溶融塩を用いた集光型太陽熱システムはそのハンドリングの難しさから、産業用熱エネルギー源としては利用されてこなかった。これをハンドリング性、安全性が高く、価格も安い汎用セラミック粒子を用いたシステムに代替することで、産業用熱エネルギーの脱炭素化を促進することを目的としてスケールアップ開発を行っている。また、同じ技術を活用して電気加熱式蓄熱システム（E-TES）の開発にも取り組んでいる。本講演では、セラミック粒子を利用した集光型太陽熱および蓄熱技術の開発の歴史と現状・課題・展望について紹介する。

１．太陽熱技術の変遷
２．集光型太陽熱システムの構成要素
３．従来型システムの課題
４．セラミック粒子を活用した技術開発の歴史と課題
５．1MW熱出力実証機の紹介
６．FPR Energyの設立
７．レシーバーの開発と課題
８．Particle蒸気発生器の開発と課題
９．E-TESの開発 と課題
１０．適用ケーススタディ
１１．将来展望
１２．まとめ
１３．質疑応答・名刺交換

（Dougal Adamson 氏）

16:00-17:00
Ⅴ．液化空気エネルギー貯蔵(LAES)システム実証について

１．背景
再生可能エネルギー主電源化社会において、エネルギー貯蔵設備には次のような役割が期待される。まず、再エネ余剰電力の貯蔵・利用である。発電量が季節や時間帯により変動する太陽光・風力由来の電力を最大限に活用するため、需要を上回って発電される余剰電力を貯蔵し、電力需要の高まる時間帯に再度電力として電力系統へ送電するものである。次に、天候の変化や設備トラブル等により発生する予想外の需給ギャップに対する、電力供給側の調整力としての役割である。さらに、今後火力発電所の退出がより進んだ場合、これまで火力発電所が担っていた慣性力供与や電圧維持といった役割も期待されるだろう。実際に英国では、当社が出資する、独自でLAES技術を開発したHighview Enterprises社が推進する世界最大級の商用プロジェクトCarrington Projectが2024年にファイナンスクローズし、建設が開始された。同プロジェクトは50MW／300MWh規模

のエネルギー貯蔵容量を有し、同期発電機を備えることで無効電力や慣性力を供与し、これまで火力発電所が担っていた系統安定化機能を代替している。その結果、再生可能エネルギーの最大活用と火力発電からのGHG排出削減を両立し、系統運営コストの低減にも寄与するモデルケースとして注目されている。

２．LAESの概要

2020年より当社が取り組む液化空気エネルギー貯蔵設備(Liquid Air Energy Storage(LAES))は、大気中の空気を取り込み圧縮・冷却により液化空気を製造・貯蔵し、必要な際にタービン発電機を駆動して電力を供出するエネルギー貯蔵設備である。LAESは次に示す特長を有する。第一に、放電出力・継続時間の設計自由度が高い点である。回転機械と液化空気・熱貯蔵タンクの設計はそれぞれ独立して行われるため、放電出力・放電継続時間を自由に選定することができる。また、数十MWから100MWを超える大容量仕様に対応可能である。第二に、立地選定の制約が少ない点である。エネルギー貯蔵設備としては、揚水発電所や地下空間利用型CAESと比較して適地選定が容易であり、タンク等の設備輸送がしやすい立地であることが唯一の制約として挙げられるだろう。第三に、LAESは同期型発電機を持つため、一般的な火力発電所と同様に、電力系統の周波数や電圧の維持に貢献できる点である。英国Carrington Projectではフライホイールを発電機と組み合わせることによる慣性力の供出量増大も計画に含まれている。第四に、外部の温冷廃熱利用により初期コスト削減・充放電効率向上を見込める点である。併設する他設備からの冷・温廃熱を利用し、空気液化プロセスや放電プロセスをより効率的に行うことができる。

３．LAESの商用化

当社は現在、LAESの商用実証機の建設を進めている。設備容量として5MWの放電出力と4時間分の貯蔵能力を有し、外部冷熱としてのLNG冷熱を利用する世界初のLAESである。2025年の運開後、卸電力市場、需給調整市場、容量市場での取引を通じた、技術確立と運用ノウハウの習得を目指している。本実証機では、広島ガス株式会社殿とパートナーを組んだ。実証機は広島ガス株式会社殿の廿日市工場内に建設され、LNGの冷熱をLAESに取り込み、効率的な充放電運用を可能とする仕様とした。英国で進むCarrington Projectのように、無効電力や慣性力など系統安定化機能をも提供できることが示された今、当社も本実証機の成果を踏まえて国内外での商用展開を進めていく。

４．質疑応答・名刺交換

（秋元慎介 氏）

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での

名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

https://www.tic-co.com/seminar/20251014.html

□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□
主催セミナー　アーカイブ一覧
□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□

過去に開催致しましたセミナーの当日の模様を録画・編集した
動画を配信致しております。
是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓
https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html

□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング
□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□

2025年7月1日から8月31日までの２ヶ月間のセミナー及び
書籍のWebページアクセス数ランキングを挙げてみました。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：★　セミナー ランキング　★：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

第１位　「水素・アンモニアに関するコスト構造・経済性と技術開発動向・取組み」
（2025年8月29日（金）開催）
https://www.tic-co.com/seminar/20250811.html　　アクセス数 1337件

第２位　　「バイオマス発電／混焼及び燃料に関する事業・技術開発動向」
（2025年8月22日（金）開催）
https://www.tic-co.com/seminar/20250817.html　　　アクセス数 1095件

第３位　　「カーボンプライシングの基礎と最新動向」
（2025年8月26日（火）開催）
https://www.tic-co.com/seminar/20250805.html　　　アクセス数 966件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
https://www.tic-co.com/access-lanking/al202509S.html

今回は第1位に
水素・アンモニアに関するコスト構造・経済性と技術開発動向・取組み
～講師5名【広島大学、電力中央研究所、
千代田化工建設、日本エア・リキード、8Rivers】ご登壇～
がランクイン。

　本セミナーでは、水素・アンモニアのコスト構造と最新の技術動向、火力発電の脱炭素化技術に対する経済性・環境性の評価、 MCHによる総合的な水素サプライチェーンに向けた取組み、 酸素予熱燃焼と水素・アンモニア燃焼の取組みならびに、CO2回収可能な超低炭素水素及びアンモニア製造技術などに至るまで、 斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしょう。

関連セミナーとして
2025年10月24日(金)に
水素燃焼／混焼など低・脱炭素発電に関する取組みと技術開発
～講師4名（JFEエンジニアリング、川崎重工業、三菱重工業、東京科学大学）ご登壇～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251011.html

ならびに、
2025年10月23日(木)に

アンモニアの燃料利用に向けた設備・取組み・展望
～東洋エンジニアリング、三國機械工業、日機装、伊藤忠商事の方々がご登壇～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251018.html

ならびに、
2025年10月21日(火)に
水電解／グリーン水素製造及び活用に関する動向と要素技術・コスト
－講師5名【東京電力リニューアブルパワー、みずほリサーチ＆テクノロジーズ、
神戸製鋼所、東京大学、電力中央研究所】ご登壇－
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251019.html

ならびに、
2025年10月22日(水)に
DAC／CO2分離回収に関する研究開発／要素技術動向と展望
～講師4名（東京都立大学、金沢大学、東北大学、日本ガイシ）ご登壇～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251013.html

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：：：：：：☆　書籍及び調査資料 ランキング　☆：：：：：：：：：
：：：：：

第１位　『日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向 2025』
https://www.tic-co.com/books/2025ce03.html　アクセス数　597件

第２位　『コスト見積の実際』
https://www.tic-co.com/books/20110481.html　アクセス数　357件

第３位　　『プラント概算見積の基礎と実際』
https://www.tic-co.com/books/20160682.html　　　　アクセス数303件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓
https://www.tic-co.com/access-lanking/al202509B.html

今回は日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向 2025
が書籍・調査資料アクセスランキングトップに。

日本のデータセンター市場は、近年著しい成長を遂げていて、2022年には市場規模が2兆938億円に達し、初めて2兆円を超えました。
2023年に2兆7,361億円と推定されていて、2023年から2028年にかけて年平均成長率（CAGR）13.2%で拡大し、2028年には5兆812億円に達すると予想されています。
また、データセンター建設市場に関しては、2024年に約6,800億円から2033年には約1兆2,000億円に成長すると予測されていて、 さらに国内パブリッククラウド市場は2024年に前年比16.3%増の4兆1423億円に達すると見込まれており、データセンター関連市場全体の拡大が期待されています。
そのような背景から日米のデータセンタービジネスと技術の最新動向をまとめた内容が関心を集めてのランクインでしょう。

関連セミナーとして
2025年10月31日(金)に
―講師3名【日本再生可能エネルギー総合研究所、Shizen Connect、
再生可能エネルギー推進機構】ご登壇―
拡大が続く蓄電池ビジネスと鍵を握るアグリゲーション
～世界の動きと日本での事業性、事例、ビジネスチャンス～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251016.html

ならびに、
2025年10月17日(金)に
―2025年5月の改正GX推進法の成立を踏まえた―

カーボンプライシング（GX-ETS等）の最新政策動向と今後の展望及び
Ｊ-クレジット・非化石証書等のクレジット市場の最新動向とビジネス展開
～創出者・購入者両方の視点を含めて解説～
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251005.html

ならびに、
2025年10月24日(金)に
三市場（容量・需給調整・同時）の最新動向と
『2040／2050年電力需給シナリオ』の読み方
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧下さい。→
https://www.tic-co.com/seminar/20251002.html

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□
　E-mail変更・不要について
□■―――――――――――――――――――――――――――――――――■□

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」と
ご記入頂き、本文には、
　★　旧E-mailアドレス
　★　新E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」と
ご記入頂き、本文には、
　★　E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。
※下記URLでも承っております。
https://www.tic-co.com/merumaga.html

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、

　　ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。
　　お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□■――――――――――――――――――――――――――――――■□

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター　メルマガ担当　白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

_/

『 －　その先の、深い情報へ。－　』
(株)技術情報センター
〒530-0038　大阪市北区紅梅町2番18号　南森町共同ビル3F
[ＴＥＬ] 06-6358-0141
[ＦＡＸ] 06-6358-0134
[ＵＲＬ] https://www.tic-co.com/
[E-mail] info@tic-co.com